

開催案内

2015年3月吉日

第2回 SAGE JAPAN CUP 高校生のアイデアが 社会を変える



SAGEとは

SAGEとは、高校生が社会貢献事業案を考案・実践するための教育プログラムです。大学生や企業がサポート役として加わります。国際大会が毎年8月に開催されており、各国の高校生がそれぞれの社会貢献案を競い合います。

昨年日本で初の大会が開催されました。今年度は6チームが出場します。

本大会は韓国での国際大会の予選会を兼ねており、その出場に向け、プレゼンテーションを行います。

ご来場をお待ちしております。

参加する高校生のチームとテーマ

* 別紙参照

開催概要

名称：「第2回SAGE JAPAN CUP」

日時：2015年3月21日(土)

時間：開催時間 11:00～15:30(予定)

場所：創価大学 中央教育棟 AB103教室

参加費：無料

主催：SAGE JAPAN推進委員会

共催：NPO法人 国際ボランティア学生協会 (IVUSA)

後援：東京都教育委員会 毎日新聞社

連絡先：〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 創価大学宮崎猛研究室

TEL / FAX 042-691-4099

Mail sageglobaljapan@gmail.com

U R L: <http://sagejapan.jp>

Facebook QRコード

* 参加希望の方は当日、会場へ直接お越しください。

* 詳しくはHP, Facebookでご確認下さい。

国際大会参加予定国

(2015年8月7日～10日 韓国)

- ・アメリカ ・フィリピン ・ケニア
- ・韓国 ・タンザニア ・中国
- ・ロシア ・ウクライナ ・ガーナ
- ・ザンビア ・ナイジェリア ・ネパール
- ・カナダ ・南アメリカ ・アイルランド
- ・シンガポール など20数カ国

プログラム

午前の部

- ・主催校挨拶
- ・審査員、来賓紹介
- ・6チームプレゼン
(休憩)

午後の部

- ・メッセージ
- SAGE GLOBALより
- ・講評
- ・結果発表、表彰

* 終了後レセプション有り



第1回大会 2014年3月22日

協賛

Gakken 学研の家庭教師 (株) タートルスタディスタッフ



第2回SAGE JAPAN CUP参加チームとテーマ

以下、申し込み順

- **都立世田谷泉高校** テーマ:不登校改善への支援
不登校という点に着目し、『一人でも多くの方に不登校の原因になり得る事柄に関する正しい理解をしていただく』ことで、問題解決の可能性が見えてくるのではないかと考えています。そこで絵本や動画などを使って多くの人に発信していくことで、多くの方に現状を知ってもらい、学校に通う子どもたちが、等しく学ぶ権利を保障される社会を目指します。
- **都立国際高校** テーマ:被災地の教育支援
被災地の教育に着目し、大学生と連携しての勉強スペースの設置を考案しています。大学生が作った映像授業や教材で高校生に学びの環境を提供することでの高校生の進学支援を考案しています。
- **都立千早高校** テーマ:異文化への偏見解消にむけて
自分たちの実体験をもとに、ハーフということが決して社会的にポジティブに捉えられない現状に注目。解決のためには早い段階から多種多様な文化や人に触れることが重要であると考え、小中学校での授業、また、多様な人々が集まることのできる場所の考案を考案しています。
- **都立千早高校** テーマ:殺処分される動物の保護
現在、施設で多くの動物が殺処分される現実があることに注目しました。その動物を減らすため、里親を探すプロジェクトを考案しています。海外で企業が実践している例をもとに事業を考案し、日本にある動物保護シェルターには相互間の連携が薄い現状を改善していくことも狙いとしています。
- **私立明治大学附属中野八王子高校、私立國學院久我山高校**
テーマ:高齢者の趣味複合型施設
高齢者に焦点を当て、高齢者の生きがいや、多様な世代との交流をつくるため、趣味複合型施設を考案しています。ここでは趣味のことをいつでも行ったり、ほかの人に教える講座を開いたりできます。また、地域の人や他の世代との交流を図ることに繋がり、高齢者が生き生きとした社会を目指します。
- **私立城北高校、都立富士高校、都立新宿山吹高校、東京工業大学附属科学技術高校**
テーマ:待機児童問題の削減案
現在の地域にある様々な社会問題は、その地域の様々な世代をつなげて解決することが1つの糸口になると考えました。地域のそれぞれの世代のニーズを満たし、地域に活力を与える事業の考案を目指しています。具体的には、杉並区の待機児童の問題を受け、児童を元気な高齢者に預けることで、待機児童問題を解決し、さらに高齢者の活躍場所の提供する事業を考案しています。